

令和3年度 山口県立農業大学校 学校評価シート

〔重点目標〕

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ① 入学生の確保(学生) | ② 農業法人への就業促進(学生) |
| ③ 新規就農・就業者の確保と育成(社会人) | ④ 園芸経営の安定(野菜・花き・果樹の各種技術実証の学修) |
| ⑤ JGAP手法による安心・安全な農産物の生産体制強化 | ⑥ 畜産経営の安定(酪農・肉用牛の低コスト生産技術の学修) |
| ⑦ 時間外勤務目標の達成 | ⑧ 働きやすい職場環境づくり |

重点目標	達成目標・評価指標	中間評価・達成度(1-10)	外部評価と次年度改善策	
①入学生の確保(学生) ②農業法人への就業促進(学生)	○新入生の定員充足率:100% ○就農及び法人等就業の割合:70%	○新入生 26 名予定:65% ○就農及び法人等就業の割合:56%(農業関連企業への就職 41%)	5	○入学生や社会人研修生の確保にむけ、進路実績をもっとPRする。
③新規就農・就業者の確保と育成(社会人)	○新規就農者確保に向けた研修(短期入門研修、作目基礎研修の定員確保) ○研修生の 100%進路確保(現地研修への移行を含む)	○短期入門研修26名(40名) ○作目基礎研修54名(70名) ○担い手養成研修生進路確保 全員(12 名)就農の見込	8	○農業高校が減少している中、普通高校・工業高校等への働きや、高校生の体験学習を検討する。
④園芸経営の安定 野菜・花き・果樹の各種技術実証の学修	○技術実証学修:9 件(生産安定1、省エネ 1、低コスト 4、高付加価値 3) ○農薬残留分析(1 検体) ○食品安全事故ゼロ	○技術実証の学修:9件(当初計画のとおり) ○農薬残留分析1検体(ミニトマト) ○食品安全事故ゼロ	10	○JGAPは、SDGsにもつながるので、更なる充実を図る。
⑤JGAP手法による安心安全な農産物の生産体制強化	○JGAP維持審査 ○JGAP手法による点検・改善体制づくり	○11/9:JGAP維持承認 ○2/4: 外部講師による模擬審査		
⑥畜産経営の安定 酪農・肉用牛経営の安定化を図る技術実証の学修	○2 年生人工授精実施:2 回/1 人 ○イネ WCS 生産:2t/10a ○IOT 技術機器を活用したスマート畜産の実践による個体管理:空胎日数 酪農 100 日、肉用牛 80 日	○2年生全員(10 名)が2回以上人工授精を実施 ○WCS収量:2.6t/10a ○空胎日数:酪農 158 日、肉用牛 107 日	8	○スマート農業等の更なる新しい農業技術の学修を充実する。
⑦時間外勤務目標の達成	○業務の工夫改善(時間外勤務の縮減、計画的な年休取得)	○時間外勤務:128時間/人(4-1月)	5	
⑧働きやすい職場環境づくり	○中堅・若手職員との意見交換等によるコミュニケーションづくり ○コロナウイルス感染症対策の徹底 ○所属職員の心身等健康管理	○あいさつ励行、相・連・報しやすい環境づくりに配慮 ○感染拡大防止策の実践 ○年休取得:9.3 日/人(1-12 月)	8	○引き続き、職員の健康保持・増進のために時間外勤務の縮減に努め、働きやすい職場づくりを推進する。